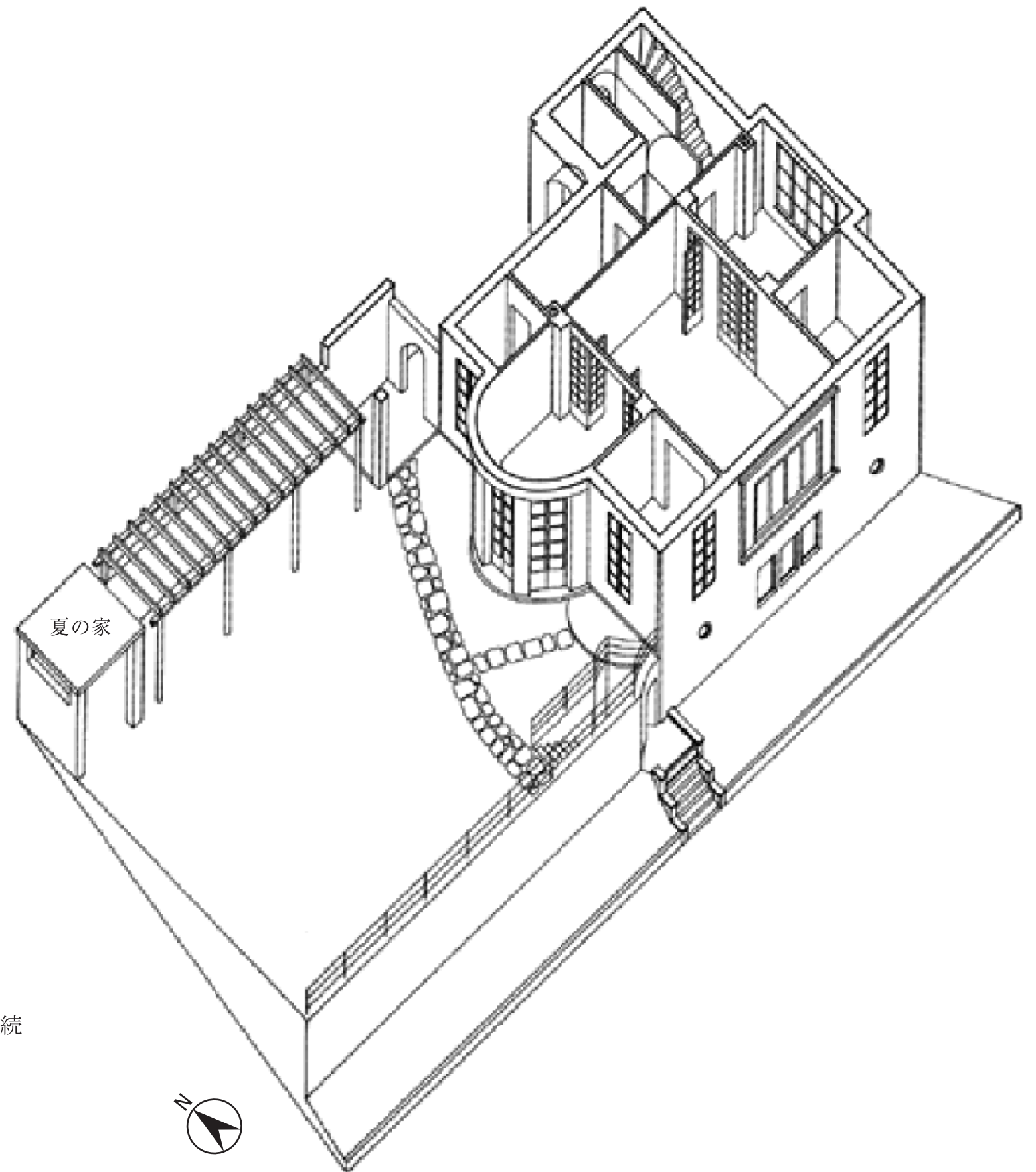


1階平面図



- コルニーで設計した最初の住宅—当時、処女作に両親の家を設計する慣習があったという
- 前三作と違いテラスの上に建てられた
- 東方への旅からの帰郷数週間後に設計が開始された
- ペレ、ベーレンス、東方への旅で吸収したものが表れてきた
 - ・ 一階中央サロンの四隅を鉄筋コンクリート柱で支えて広い空間を演出する (ペレ)
 - ・ ベルリン郊外に建つような新古典様式のビラ (ベーレンス)
 - ・ 入口から夏の家に至るパーゴラの処理 (ポンペイ遺跡の影響といわれる)、建物と壁の連続
- 南側二階窓は後の横長連続窓を想起させる

ジャンヌレ・ペレ邸 (1912)